

学術コミュニティと 知的財産

2009. 12. 14 シンポジウム

日時 : 平成 21 年 12 月 14 日(月) 15:00~18:00

場所 : 日本学術会議講堂 <http://www.scj.go.jp/ja/other/info.html>

港区六本木 7-22-34 (東京メトロ千代田線「乃木坂駅」下車 青山方面出口(出口 5 番)より徒歩 1 分)

参加費 : 無料

※定員 (300 名) となり次第、締め切りとさせていただきます。

<開催趣旨>

日本学術会議では科学者委員会・知的財産検討分科会において、学術コミュニティに対する知的財産制度の影響についてのアンケート調査を行い、今後どのような知的財産制度を構築すべきか、それに向けて学術コミュニティの側から何を提言していくべきか、といったことについて議論を行っています。本シンポジウムでは、アンケート調査の結果の報告と、アカデミアからみた知財制度のあり方についてパネル討論を実施します。

<プログラム>

- | | | |
|-------------|---|-----------------------------------|
| 15:00-15:10 | 開会の挨拶 | 金澤一郎 (日本学術会議 会長) |
| 15:10-15:30 | 基調講演 | 荒井寿光 (東京中小企業投資育成株式会社 代表取締役社長) |
| 15:30-15:40 | 分科会の経緯 | 藤嶋昭 (本分科会委員長、財団法人神奈川科学技術アカデミー理事長) |
| 15:40-16:00 | 知的財産検討分科会におけるアンケート調査の結果報告 | 渡部俊也 (本分科会幹事、東京大学先端科学技術研究センター教授) |
| 16:00-17:55 | パネルディスカッション「学術コミュニティの視点からみた知的財産制度のあり方」
モデレーター : 隅蔵康一 (本分科会幹事、政策研究大学院大学准教授)
パネリスト : 入江正浩 (本分科会委員、立教大学理学部教授)
須田年生 (本分科会委員、慶應義塾大学医学部教授)
長岡貞男 (本分科会委員、一橋大学イノベーション研究センター教授)
古川勇二 (本分科会委員、職業能力開発総合大学校校長)
松本恒雄 (本分科会委員、一橋大学大学院法学研究科教授) | |
| 17:55-18:00 | 閉会の挨拶 | 野本明男 (本分科会副委員長、東京大学大学院医学系研究科特任教授) |

<主催> 日本学術会議 科学者委員会 知的財産検討分科会

<後援> 日本知財学会, 研究・技術計画学会, 産学連携学会, 大学技術移転協議会

<参加申込方法> E-mail もしくは Fax にて、「ご氏名」「ご所属」「連絡先電話番号」「E-mail アドレス」を明記の上、お申し込みください。
申込先 : 政策研究大学院大学 隅蔵研究室 (担当 : 門松) E-mail : mostip@grips.ac.jp Fax : 03-6439-6209
定員を超過してご参加いただけない場合のみ、連絡させていただきます。個人情報 は本シンポジウム開催の目的のみに使用いたします。